

## 霊峰木曾おんたけロードタイムトライアル+ヒルクライム

コミュニケ4\_revised(競技系)

2021.10. 27.

チーフコミッセル 岩間光輝

(ロードタイムトライアル、ヒルクライム 共通事項)

### 1 コミュニケの位置づけ

コミュニケは、大会要項・特別規則を補完するものである。大会要項・特別規則も熟読のこと。

### 2 ゼッケン・フレームプレートの取り付け

(通例、タイムトライアルにおいてはゼッケン1枚、フレームプレート不要であるが)本大会では、ゼッケン2枚(右図)+フレームプレートの着用を義務づける。ゼッケンの付け方は右図のようにつけること。ゼッケンとゼッケンの間は最低5cm以上空けること。

・フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則である。もしフレーム前部に取り付けることが不可能な場合、シートピラーに取り付けることを認めるが、臀部・脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定すること。

・ヒルクライムでは、通常のフレーム・プレートに加えて、前方から視認できるナンバープレートのハンドルへの取付を義務付ける。

・ゼッケン、フレームプレート取付用の安全ピン、結束バンドは各自で用意すること。



### 3 バイクチェック・サインシート

サインシートの本人による記入は行わない。

バイクチェックは、セルフ・チェックを基本とする。

(ジグを配置しプレチェックを可とするので、各自必要に応じてチェックを行うこと。)

ジグは、(TT)スタート地点近傍 / (HC)ゴール地点近傍に設置する。

重量計測、寸法点検を自ら行なうこと。

各カテゴリー上位3名および、昇格者はバイクチェックを行う。自らが、該当すると思った場合には、バイクチェック場へ参上すること。現れなかった場合、失格とすることがある。

### 4 映像

・本大会における肖像権は主催者に帰属する。

・オンボードカメラの使用は認める。主催者から画像データ提供依頼があった場合には応ずること。

・主催者からオンボードカメラの装着依頼があった場合は応ずること。



木曾おんたけ観光局  
KISO ONTAKE TOURISM OFFICE

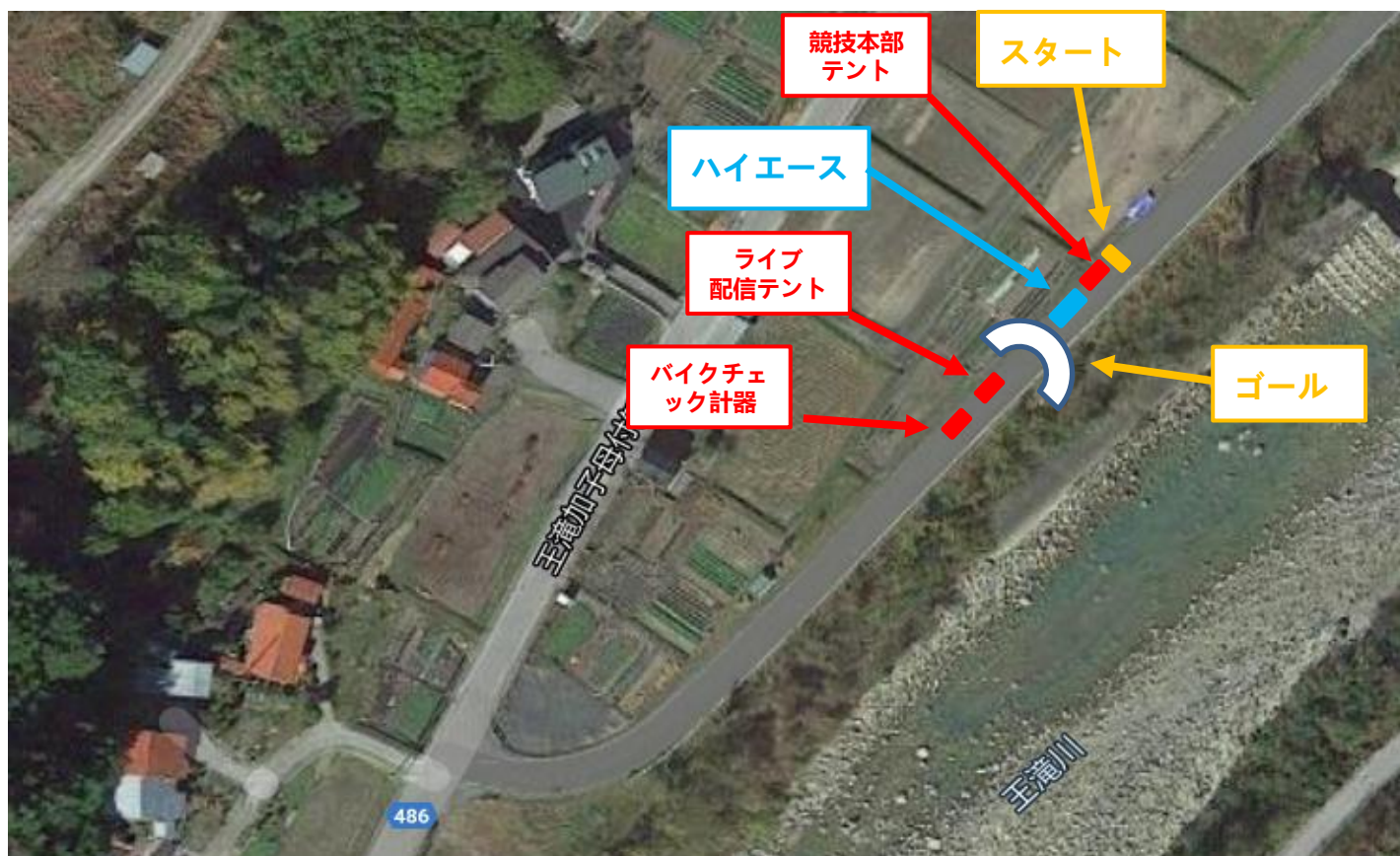
**IRC TIRE**  
Inoue Rubber Co., Ltd.

**nichinao**

## 霊峰木曾おんたけロードタイムトライアル+ヒルクライム

(ロードタイムトライアル)

1. スタート間隔について (TT)  
クラス1は1分間隔、他は30秒間隔とする。
2. スタート時間について (TT)  
下図記載のスタート地点に、スタートリスト記載の自身のスタート時刻の5分前には待機し、遅れないように努めること。
3. レース中の走行について (TT)  
センターラインを越えることが絶対に無いように充分注意して走行すること。
4. 機材ピットについて  
主催者は共通機材を用意しない。チームが折り返し地点にて機材交換をすることを認める。  
それ以外の地点では機材の交換は認めない。



## 霊峰木曾おんたけロードタイムトライアル+ヒルクライム

(ヒルクライム)

1. ニュートラルサービスについて  
今大会のニュートラルサービスは、レガルスィ・イナーメによって行われる。  
主催者提供共通器材車は1台、先頭選手をカバーする。共有器材モトはない。  
共通器材車には自転車三台、代輪2ペアを用意する。
2. 防寒対策  
フィニッシュ地点は氷点下となる。十分な防寒対策を行うこと。  
自動車はスタッドレスの着用もしくは冬用チェーンの携行を推奨する。
3. パレードスタート地点について  
パレードスタートは開会式会場より行う。  
選手は、開会式会場に防寒着・マスクを着用した状態で自転車を持って参集すること。



木曾おんたけ観光局  
KISO ONTAKE TOURISM OFFICE

**IRC TIRE**  
Inoue Rubber Co., Ltd.

**nichinao**



## 霊峰木曾おんたけロードタイムトライアル+ヒルクライム

### 4. パレードスタートについて

下記に示す順序で9名程度ずつコールアップする。  
呼ばれた選手は、順次、正式スタート地点へ移動する。

コールアップ順序

キッズ→ジュニア→クラス1→クラス2→クラス3

(各クラスの中では、前日のタイムトライアルの順序にてコールアップする。)

### 5. 正式スタート地点について

正式スタート地点に到着したら、左側車線にコールアップの順序で並ぶこと。  
感染対策として、スタート前の私語は禁止する。正式スタート直前までマスク着用のこと。

正式スタート地点の駐車場はカレー店・公共トイレ利用客向けとなっており、収容台数も限られている。利用は控えること。チームカーは正式スタート地点での停車時左側に寄せ、地元車両などの交通の妨げにならないよう注意すること。正式スタート前の時間に選手から防寒具の受け取りなどをする場合は、車列後方のチームカーを左側に寄せて停車し、徒歩で選手の場所まで移動すること。

### 6. 打ち切り

特別規則に基づき原則として先頭から1kmあたり3分程度の遅れを目安として打ち切りを行う。  
上記にかかわらずコミッセルがレース続行不可と判断した場合、競技の中止を命ぜられる。  
失格となった選手は原則としてチームカーに乗車すること。コースの逆走は認めない。



## 霊峰木曾おんたけロードタイムトライアル+ヒルクライム

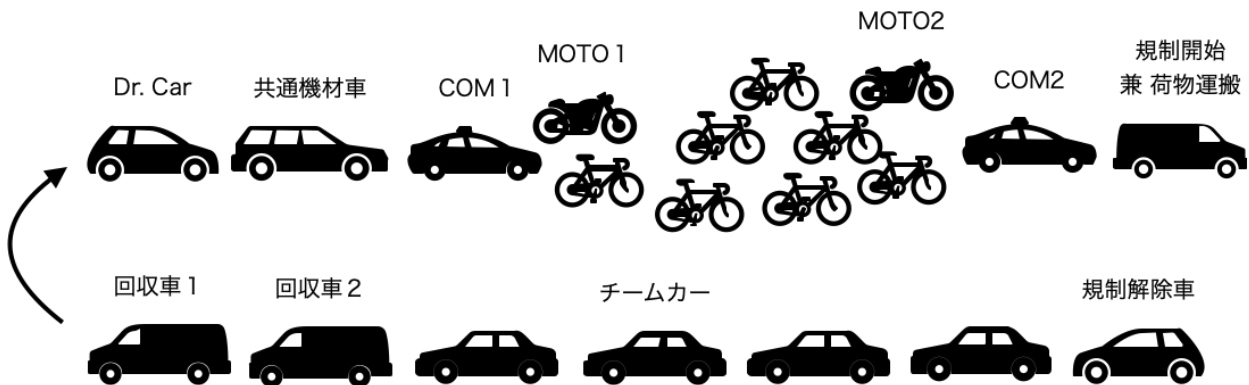
### 8. 車列について

下記表に示すとおり車列で進行する。チームカーの順序は決めない。

(今大会においては、チームカーは防寒対策としての伴走の位置付けとする。)

チームカードライバーは、常にラジオツアーを最大音量にし、ラジオツアーからの情報に耳を傾けること。

#### 正式スタート前



#### レース中

